

平成29年1月定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成29年1月27日（金）
開 会 午後 1時30分
閉 会 午後 2時30分
2. 会 場 茅野市役所 602会議室
3. 出席委員 教育長 山田 利幸 同職務代理者 矢崎 靖雄
教育委員 小林 智 教育委員 小林 俊恵
教育委員 小平 光子
出席者 生涯学習部長 木川 亮一 こども部長 牛山 洋治
学校教育課長 平出 信次 スポーツ健康課長 鋤柄 敏
幼児教育課長 牛山津人志 こども課長 両角 勝元
生涯学習課長 小島 吉彦 公民館長 矢島喜久雄
文化財課長 守矢 昌文
教育総務係長 渡辺 雄一 生涯学習係長 上原 平二
こども係長 今井 明彦
教育総務主事 丸茂 直樹
4. 傍聴者 2名

1 月定例教育委員会次第

日 時 平成29年1月27日（金）午後1時30分から

場 所 市役所 602会議室

1 開 会

2 前回会議録の承認

3 報告事項

第1号 教育長報告

第2号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第3号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

4 議 案

今回はありません。

5 検討事項

（1）信州型（茅野市版）コミュニティスクールについて

6 その他

（1）中学生台湾教育交流事業について

（2）茅野市公民館使用取扱要領について

（3）スポーツに関する市民満足度調査結果について

7 閉会

次回定例教育委員会日程について

2月22日（金）午前9時30分「602会議室」

（事務局会議 2月10日（水）午前9時00分「602会議室」）

教育長

只今から、1月定例教育委員会を開催します。

前月の12月の会議録の確認をします。何かありますか。

全委員

異議なし。

教育長

1月1日に総合博物館、守矢神長館に元旦開館ということで参加してきました。元旦にも関わらず多くの方が参加しておりました。8日に諏訪美術協会の新年会がありました。先日その会の方が来庁し、小中学生の絵も飾りたいというような話もありました。13日が縄文科研修会があり、当初は13、14日の予定でしたが、負担を減らすという事で、13日のみ行われ縄文プロジェクトについて説明してもらいました。17日に宮川小の読書公開参観日がありました。読書に関する参加日を行うと子どもたちが穏やかになるような気がしました。私からは以上になります。

次に報告2号各課から報告をお願いします。

[各課から1月行事予定について報告]

資料（報告2号）

教育長

次に報告事項第3号、教育委員会共催・後援についてお願いします。

[生涯学習課、スポーツ健康課から教育委員会共催・後援について報告]

資料（報告3号）

教育長

次に検討事項1「信州型コミュニティスクールについて」学校教育課長お願いします。

学校教育課長

【概要】

茅野市教育委員会は、学校と地域が「こんな子どもを育てたい」という願いを共有しながら、一体となって子どもを育てる持続可能な仕組みを持った地域とともにある学校づくりを目指すため、既にある学校ボランティアを活かし、誰でも参加できるように信州型コミュニティスクール（茅野市版）を構築します。

信州型コミュニティスクールとは地域住民の皆さんに、日常的に学校に来ていただき、子どもたちのことを支援していただいたり、子どもの教育や学校運営について話し合うな

ど、学校と地域が「こんな子どもを育てたい」という願いを共有しながら、一体となって子どもを育てる持続可能な仕組みを持った地域と共にある学校です。そのため仕組みを整え、学校と地域の協働を推進します。運営協議会とは地域住民と学校が児童生徒の将来あるべき姿について「熟議」等による話し合いをする場です。運営協議会には、学校運営への参画、学校支援、学校関係者評価、以上の3つの機能があります。信州型CSの特色は、3つの機能を一時的に果たすことで、相乗効果が生まれます。既存の組織を活かした仕組みづくりが可能で、地域の特色を生かした実践ができます。茅野市における取組は小中一貫教育を推進していくために、「信州型コミュニティスクール（茅野市版）」の仕組みを作ります。学校と保護者・地域住民が信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善、児童生徒の健全育成等に取り込みます。国と信州型の主な違いは1つ目が国のコミュニティスクールでは、委員に教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べることができるという権限が与えられるので、責任が重く負担となります。また教育委員会規則として「学校運営協議会規則」を作成し、教育委員会が学校を指定して、初めて該当学校に「学校運営協議会」を置くこととなりますが、信州型のコミュニティスクールでは、法的な措置を義務付けられていないため、それぞれの学校の特色を生かした取り組みが出来ます。委員の身分は非常勤特別職の地方公務員となり、信州型コミュニティスクールでの委員の身分は学校支援ボランティアとなります。茅野市のコミュニティスクールでは各小中学校が教育委員会が作成した雛形を参考にして、「運営委員会設置要綱」を作成します。永明小学校は既に、国のコミュニティスクールを導入していますが、信州型のコミュニティスクールに切り替えていきます。学園内の小小連携、小中連携を図るため、学園ごとに委員による合同会議を開催し、目標と課題を共有することで連携を図ります。コミュニティスクールと小中一貫教育は、ともに教育改革にとって重要なツールであり、一体となって相乗効果を発揮していくことが期待されます。したがって、全小中学校に信州型のコミュニティスクール（茅野市版）を導入し、学園（中学校区）ごとの合同会議を開催することによって、学園内の各学校が情報を共有することで、より連携を図りながら小中一貫教育の推進に取り組めます。

[資料説明]

資料（検討事項1）

矢崎委員

学校運営協議会で1番大事なのは、コーディネーターだと思いますが、そのコーディネーターは学校の先生が行うのでしょうか。

学校教育課長

コーディネーターを学校の先生が行うことは荷が重いと思います。学校によっては先生が事務局をやっていますが、できれば地域の教職を経験した方を探してお願いしたいと思

っております。まだ決まっておりますので、学校と相談しながら決めていきたいと思っております。

教育長

その地域の特性にあったコミュニティスクールということで、お膳立てについては、事務局の方で全力でやらせていただきますが、人選に関しては、校長先生にご尽力いただいて、どうにもならないようであれば、最後にこちらでどうにかする、と考えています。また公民館の分館長の会議では、各学校で地域の方々にどのような方がいるのか見ていただきたいです。泉野、北山、金沢小学校あたりの校長、教頭先生は地域にどのような方がいるのか把握していると思いますが、玉川、永明、宮川小学校あたりの、校長、教頭先生は規模が広すぎて、把握しきれていないと思います。

コミュニティスクールを始めることによって学校の負担が重くなってしまうのは、目的は学校の負担を軽くしていくことです。永明小学校は、コミュニティスクールによって負担が軽くなりました。

教育長

次のその他1「中学校台湾教育交流事業について」丸茂主事お願いいたします。

丸茂主事

1月20日に台湾の学校、総勢111名が茅野の中学校と学校交流を行いました。私は、東部中学校の方で交流に参加させていただきましたので、その様子について、話をしたいと思います。東部中学校はインフルエンザで3学級が学級閉鎖になってしまったので、当初予定していた学校での授業はなく、東部中学校のインフルエンザにかかっていない台湾交流の委員の生徒と、台湾の生徒たちと博物館、考古館を見学してきました。その見学の中で、台湾の生徒と東部中学校の生徒が一緒に写真を撮るというような光景もありました。当初の予定とは異なりましたが、しっかりと生徒たちが交流できたと感じました。学校の先生方も台湾交流に対する接し方が昨年と比べ積極的になってきたように感じます。まだ学校側とは話はしておりませんが、現在は、茅野市の学校の先生が台湾の学校と連絡を取るときは、学校教育課と観光協会の文文さんを通して、台湾の学校と当日の交流内容を決めてきましたが、今後は、学校同士で英語の先生達が連絡をとり、交流内容などを決めていった方が、より連絡回数も増え、密度の濃い学校交流ができるのではないかと思いますので、できれば学校同士が直接連絡できるようにしていきたいと思っております。

教育長

次にその他2「茅野市公民館使用取扱要綱について」生涯学習課長からお願いします。

生涯学習課長

社会教育法第22条では「公民館は、第20条の目的達成のために、おおむね左の事業を行う。」として、第1号から第6号まで6つの事業を例示している。このうち第1号から第5号までは公民館が直接行う事業を規定しているが、第6号では「その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。」と想定し施設を住民等に供与することを挙げている。このように公民館は、施設を広く一般的に開放して地域住民の社会教育活動等に利用されることが重要な任務と位置付けられている。また、公民館は、地方自治法第1項に規定する公の施設に該当し、同条第2校に「正当な理由がない限り、住民が公の施設を利用することを拒んではならない。」と規定されている。したがって、公民館の使用許可にあたっては、正当な理由なく差別的取扱いとならないよう公平・公正な取り扱いが必要である。このようなことから、本要領は、職員によって取扱いに差異がないよう、また、使用する目的によって適正に判断されるよう公民館の会議室等の使用許可に関する基本的な取り扱い基準をまとめたものである。

資料説明（その他2）

矢崎委員

変更点はどこになりますか。

生涯学習課長

変更点はなく、今回はこの要領がなかったので、作成したということです。

矢崎委員

今まではこの要領はなく、行っていたということですか。

生涯学習部長

今までは社会教育法を準用して行ってきました。この考え方はありましたが、分かりやすくまとめたものがなかったことと、職員によって間違った判断で貸し出さないように、誰が対応しても同じ基準で貸し出せるよう作成したという事です。

小平委員

地区の公民館についても、それに準ずるということでしょうか。

公民館長

今回の基準は本館に関わる基準ということですので、地区の公民館については、地区の判断という形になるかと思います。

教育長

次にその他３「スポーツに関する市民満足度調査結果について」スポーツ健康課長からお願いします。

スポーツ健康課長

昨年の６月に行った市民意識調査アンケートの中にスポーツに関することも盛り込んでもらい調査しました。１２月に集計が終わりましたので、結果をご説明いたします。

スポーツ健康係長

【アンケート結果について説明】

資料説明（その他３）

こども部長

「スポーツをしているか」という調査内容で、その年齢別というのは分かりますか。スポーツ施設に行ったりすると６０歳以上の方の割合が多いような気がします。

生涯学習部長

働いていて時間が無くて運動できない人と、６０歳以上になり、時間があって運動する人、年齢別に分けて考察して、どの年齢層をターゲットにしていくかも考えるべきだと思います。

スポーツ健康課長

データの方を確認したいと思います。

教育長

質問等ございませんか。

本日の予定されていた議事は全て終了しました。

次回定例教育委員会ですが、２月２２日水曜日午前９時３０分から、事前を午前９時００分から開催したいと思います。よろしいですか。

全委員

異議なし。

教育長

ご異議ないようですので、そのようにいたします。

以上で１月定例教育委員会を終了します。

茅野市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定によりここに署名する。

平成 29 年 2 月 22 日

茅野市教育委員会 教 育 長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こ ども 部 長